

伊集院保健所感染症情報

2025年第2週（令和7年1月6日～令和7年1月12日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内警報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第51週	第52週	第1週	第2週	先週からの増減	第1週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	63.60	76.40	58.40	36.80	↘	36.36	↘
COVID-19	—	—	—	0.80	4.00	9.60	7.20	↘	2.75	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.67	1.33	0.00	1.00	↗	0.25	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.33	1.67	1.33	2.00	↗	0.51	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	4.00	8.00	2.33	2.00	↘	1.76	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.27	↗
手足口病	5	2	—	1.67	2.33	1.67	0.33	↘	0.51	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.02	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.00	↘
RSウイルス感染症	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.25	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC ヒトメタニューモウイルス感染症について

最近、中国におけるヒトメタニューモウイルス感染症の流行拡大が注目を集めています。ヒトメタニューモウイルスという名前には馴染みのない方が多いかと思いますが、簡単に解説します。

ヒトメタニューモウイルスとは、2001年に発見された呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種で、小児の呼吸器感染症の5～10%、大人の呼吸器感染症の2～4%の原因であると考えられています。主に冬から春にかけて流行する傾向があり、日本国内においても毎年感染が確認されています。

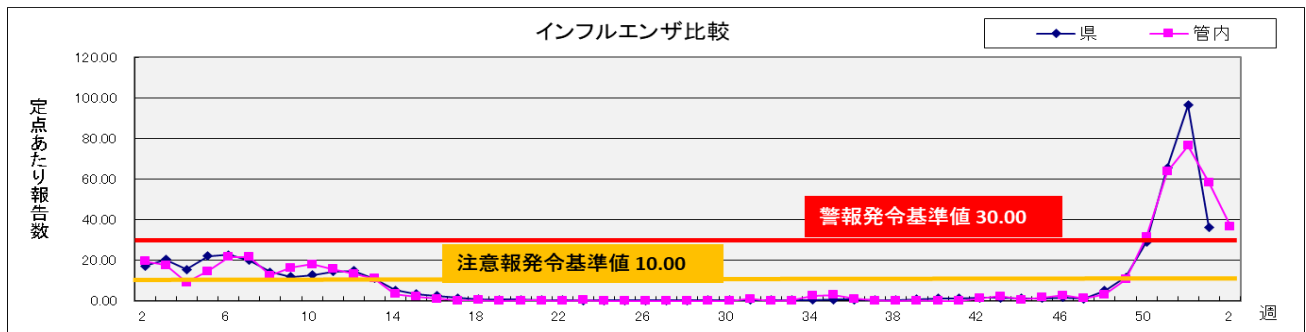
特徴としては、RSウイルスに似ており、一般的な症状としては咳、発熱、鼻水などがみられます。通常は軽い風邪のような症状で治まりますが、特に乳幼児や高齢者では重症化した場合に気管支炎や肺炎などを引き起こすことがあるため注意が必要です。

治療については、それぞれの症状に応じた対症療法を行います。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症と異なり、抗ウイルス薬はありません。

また、感染経路としては、飛沫感染や接触感染が主なものですので、マスクの着用・手洗い・換気などが有効です。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（管内に警報を発令中）

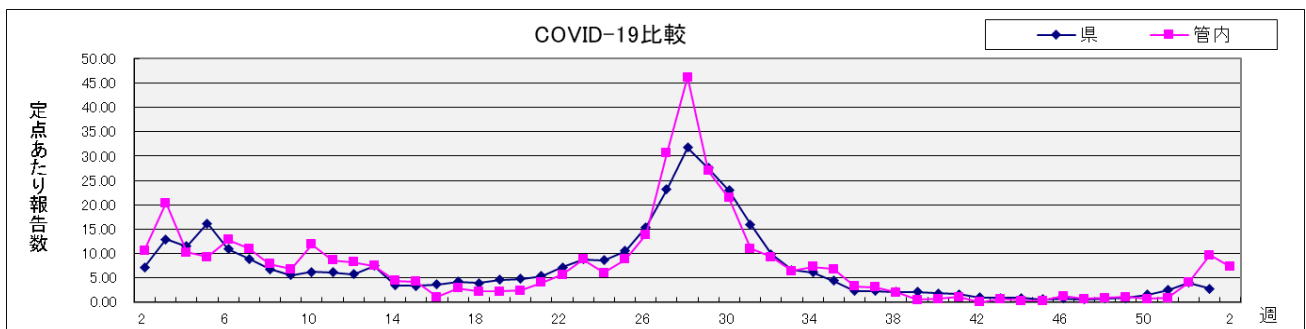


第2週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、1週の292人（定点当たり58.40）から108人少ない、184人（定点当たり36.80）となりました。

年齢別の報告では、80歳以上（20人）、50～59歳（各17人）、40～49歳（各16人）、20～29歳（14人）、6歳・60～69歳（各13人）、10～14歳・70～79歳（各11人）、3歳（10人）、4歳（9人）、5歳・30～39歳（各8人）、2歳・15～19歳（7人）、8歳（5人）、1歳・9歳（各4人）、6ヶ月～11・7歳（各3人）、5ヶ月以下（1人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。これにより、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・COVID-19



第2週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、1週の48人（定点当たり9.60）から12人少ない、36人（定点当たり7.20）となりました。

年齢別の報告では、80歳以上（14人）、30～39歳（4人）、9歳・20～29歳・50～59歳・70～79歳（各3人）、1歳・2歳・5歳・10～14歳・15～19歳・60～69歳（各1人）、

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
③換気（部屋の換気を定期的に行う）④集団生活の場では、共用部分の消毒
基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/6～1/12（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第2週の出席停止については、インフルエンザ患者が104人（内訳：非型別インフルエンザが65人、A型インフルエンザが39人）、感染性胃腸炎が2人、マイコプラズマ感染症が3人、COVID-19が9人報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	感染性胃腸炎	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市		42	21	1	2	3
いちき串木野市		17	17	1	1	6
三島村		0	1	0	0	0
十島村		6	0	0	0	0
計		65	39	2	3	9